

症 例 短 報

青く着色した舌を呈したフルニトラゼパムを含めた向精神薬中毒の1例

山本 基佳¹⁾, 新中さやか¹⁾, 菅沼 和樹¹⁾, 白戸 康介¹⁾,
山口勝一朗¹⁾, 飛世 知宏¹⁾, 宮武 智哉²⁾

¹⁾ 社会医療法人財団慈泉会相澤病院救命救急センター

²⁾ 社会医療法人財団慈泉会相澤病院薬剤センター

原稿受付日 2018年10月15日, 原稿受領日 2019年7月23日

はじめに

一部の薬毒物中毒ではその色調が診断の一助となることがある。今回、フルニトラゼパムで舌と衣服が青く着色した意識障害の症例を経験した。

I 症 例

症 例 : 38歳, 女性。

主 訴 : 意識障害, 過量服薬。

既往歴 : 胃炎, 自律神経失調症。

現病歴 : X年3月X日に過量服薬後の意識障害で他院Aに入院し, 翌日退院した。退院後は旅館に宿泊していた。X+7日, 起きてこないのを不審に思った旅館員が部屋を開け, 倒れている患者を発見した。傾眠で部屋には空の薬包が多数散在していた。同日16時に当院へ救急搬送された。空の薬包は次のとおり。

フルニトラゼパム錠 1 mg 6錠, フルニトラゼパム錠 2 mg 138錠, フルニトラゼパム錠(サイレース®錠) 1 mg 14錠, ブロマゼパム錠(レキソタン®錠) 2 mg 8錠, ブロマゼパム錠(セニラン®錠) 2 mg 14錠, プロチゾラム錠 0.25 mg 139錠, ロフラゼプ酸エチル錠 1 mg 22錠, セルトラリン塩酸塩錠 25 mg 6錠, クエチアピソフマル酸塩錠 25 mg 54錠,

クエチアピソフマル酸塩錠(セロクエル®錠) 25 mg 68錠, クエチアピソフマル酸塩錠 100 mg 1錠, ミルタザピソ錠(リフレックス®錠) 15 mg 15錠, ミアンセリン塩酸塩錠 10 mg 72錠, ミアンセリン塩酸塩錠 30 mg 7錠, モサプリドクエン酸塩水和物錠 5 mg 2錠, 市販薬イブ®A錠(イブプロフェン 75 mg, アリルイソプロピルアセチル尿素 30 mg, 無水カフェイン 40 mg) 20錠, 市販薬ヘパリーゼ®(種類不明) 4錠。

自己申告では前日23時に前述の薬を過量服薬して他の薬毒物の服毒はなく, 目撃者の話でも近くに他の薬毒物や農薬などの空き容器はなかったという。

身体所見 : 血圧 156/100 mmHg, 脈拍 69/min, 体温 36.9°C, SpO₂ 97% (room air), GCS 14 (E3V5M6), 瞳孔 2.5/2.5 mm, 対光反射+/+, 視診上, 舌や服が鮮やかな濃青色に染まっている (**Fig. 1**)。

血液検査 : CK 367 U/L, K 3.2 mEq/L。ほかに特記すべき異常所見なし。

心電図 : 洞調律。

来院後経過 : 来院時の状況, 状態を総合的に判断し, 意識障害の原因は過量服薬で, 内服から半日以上経過していると判断した。推定服薬量は多量であるが, 致死量に達する薬剤はなかった。特記事項として, 舌や服が鮮やかな濃青色を呈していたためパラコート中毒を鑑別疾患にあげたが, 農薬類の空き容器はなく, フルニトラゼパム由来の色と判断した。

2回目の自殺企図であったため, 全身状態の安定

著者連絡先 : 山本 基佳
社会医療法人財団慈泉会相澤病院救命救急センター
〒390-8510 長野県松本市本庄2-5-1

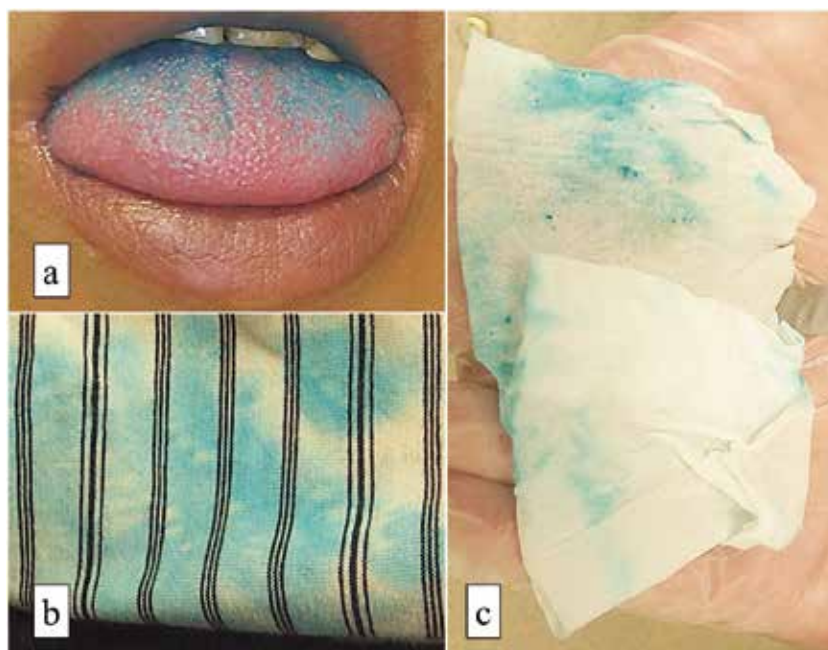


Fig. 1 Brilliant blue color caused by dissolved flunitrazepam
Tongue (a), clothes (b), and wiped paper towel (c) dyed blue

を確認後, 精神科入院病棟をもつ他院 B へ転院し, 応急入院した。転院から 12 日目時点で急性薬物中毒からは順調に離脱し, 退院先を調整中という報告を受けた。

II 考 察

本症例で 2 つのことが示された。

1 点目として, フルニトラゼパムは溶解すると青色を呈する。フルニトラゼパムはベンゾジアゼピン系の中間型睡眠導入薬である。アルコールとの併用で健忘を生じやすいため, 飲食物に混入させて性犯罪に用いるなど, 海外では date rape drug と呼ばれ問題になっている¹⁾²⁾³⁾。本邦では悪用防止のための措置として, 2015 年 7 月から厚生労働省の要請で錠剤の色が白色から淡青色に変更された¹⁾²⁾。添加物の青色 1 号により内部(素錠)は青色になり, 溶解させると濃青色になる¹⁾³⁾。近年フルニトラゼパム内服によって胃内容物が青く着色していたわが国初の法医解剖例が報告され¹⁾, その後も法医学領域では同薬により胃内容物や気管内が青く着色した解剖例の報告が散見される²⁾³⁾。

2 点目として, 青く着色した体や衣服が診断の一助になることがある。青く着色する毒物では強い毒

性をもった除草剤, パラコートが有名である。色調は青色と表現されることはあるが, 緑色に近い⁴⁾。本症例でも青く着色した舌や衣服からパラコート中毒を鑑別疾患にあげた。しかしフルニトラゼパムの青色は青色 1 号, 別名ブリリアントブルーに由来し, 文字どおり鮮やかな濃青色でパラコートとは色調がやや異なる。またほかには, 同じベンゾジアゼピン系の薬剤であるトリアゾラムにも青色 2 号, 別名インジゴカルミンが含まれている。色素は厳密には異なるが, 類似の色調を呈するため鑑別疾患にあげる必要がある。一方, 色調の評価には主観が入り, かつ, 有色の飲食物や他の薬毒物との同時摂取も起こり得る。色調だけでなく, 他の情報と合わせて判断することが望ましい。例えば, 中毒診療の基本ではあるが, 持参した薬毒物, 現場周囲の薬包, 毒物・農薬の容器などを参考にすることが大切である。また, 全身状態を加味することも重要である。内服した薬毒物の種類や量により異なるであろうが, フルニトラゼパム中毒にしては全身状態が不安定である場合などは, ほかに服用した薬毒物がないかをより慎重に検討しなければならない。法医学領域では, 口部の青色変色を安易にフルニトラゼパムによる薬物中毒と判断してしまう誤認検視事例の発生が危惧

されている³⁾。救急の現場でも鮮やかな濃青色の付着物に対し、安易にフルニトラゼパム中毒の診断に飛びついて病態を過小評価しないよう留意する必要があるであろう。フルニトラゼパムには特徴的な色調があることを認識し、診断の一助として利用することが望ましい。

結 論

フルニトラゼパムは溶解すると青色を呈する。青く着色された体や衣服が診断の一助になることがある。

〔利益相反〕

なお本論文の内容に関して、企業または団体との利益相反事項はありません。

【文 献】

- 1) 高橋識志：フルニトラゼパム内服により胃内容が青色を呈した自殺症例. 法医の実際と研 2016 ; 59 : 221-2.
- 2) 呂彩子, 鷺盛久, 景山則正, 他 : 部分有床義歯の吸引による窒息死の一剖検例. 法医の実際と研 2017 ; 60 : 117-22.
- 3) 大島徹, 安部寛子, 大谷真紀, 他 : 青緑色の口部変色の所見からトイレ用消臭液による中毒死が疑われた一例. 法医の実際と研 2017 ; 60 : 33-8.
- 4) 工藤恵子 : パラコート. 日本中毒学会編, 急性中毒標準診療ガイド, じほう, 東京, 2008, pp265-9.

Summary

A 38-year-old drowsy woman visited the emergency department after experiencing a drug overdose. Her tongue and clothing were dyed bright blue. At first, we suspected paraquat poisoning. However, a bottle of paraquat was not found anywhere. Judging from empty drug packages and her symptoms, we diagnosed the patient with psychotropic drug poisoning including flunitrazepam. Her condition was stable, and therefore, she was transferred to a psychiatric hospital for treatment.

In Japan, a brilliant blue colorant was recently added to tablets of flunitrazepam to prevent misusing them as date rape drugs. Therefore, dissolved flunitrazepam will change a solution to blue. Until now, we considered the possibility of paraquat poisoning if the oral cavity of a patient was blue; however, henceforth, flunitrazepam poisoning should be suspected when a person's body or clothes are dyed blue. This will help diagnose patients who experience overdose.